



三条北ロータリークラブ週報

築け未来を
行動力と先見の眼で

例 会 日
1996. 11 . 26
累 計 No 490
当 年 No 21

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ 第2560地区ガバナー 吉田昭平

会 長／堀 川 正 幸
幹 事／佐 藤 義 英
SAA／長谷川恵慈

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行 事：「話にならない“旅”の話」平松利朗会員

出 席： 本日の出席 56名中39名

先々週の出席率 56名中46名 82.14%（前年同期83.64%）

先週のメイクアップ： 11月20日 三条RCへ 加藤 實さん、佐藤啓策さん

21日 燕RCへ 柄沢憲司さん、加藤 實さん、稲田憲治さん

25日 三条南RCへ 佐藤文夫さん、坂本勝司さん、外山晴一さん

ビジター： 三条RCより 渋谷健一さん

会 長 挨 拶： 堀川正幸

ご挨拶申し上げます。

先週はガバナー公式訪問ご苦勞様でした。お陰さまでガバナーも気分よくお帰りになられたものと思います。それから皆様のお手許に細則案がお配りしてあると思いますが、中に挟まっているのが今現在使用している細則です。その第一条第一節の所で「役員を選出すべき1ヶ月以上前の例会において議長は会員に対し、会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計、会場監督及び7名の理事を指名することを求めなければならない」とありますが、これは今実際に行なっている方法とは全く違います。

現在私共のクラブでは、創立当時なにもわからない所を、梨本さんのご指導により、实际的で運用しやすい方法を採用してまいりましたが、細則を変更した方が良いのではという意見が前年度よりありました。そこで三条クラブ、その他の細則を参考にして、木宮さんの作ってくれた案をたたき台として作ったのが細則案でございます。

第1節については三条クラブさんが最近作られた細則の役員、理事の規定が良かったので入れてみました。第3節については重田年度の懇談会で当日になって副幹事を呼んで下さい、といわれたことがございました。ご存知の通りその当時は私共のクラブには副幹事はいませんでした。来週の総会にかけさせていただきたいと思いますのでご検討のほどよろしくお願い致します。今日は時間

ありそうですので、また私の疑問の話をさせていただきます。題は“小宇宙、人体の不思議”です。

人体はよく小宇宙に例えられることがあります、大変複雑で、神秘的であり、巧妙に作られているのでそう呼ばれたのではないかと思います。人体には何十兆、何百兆という細胞があり、そのすべてが同じ遺伝子を持っているそうですが、一つの細胞だったものが、細胞分裂をして成長していく過程で分化をしてあるものは骨を作り、あるものは髪を作り、又あるものは内臓や筋肉を守るための皮膚となるなど、役目に応じて変化をしてゆきます。最終的にはまったく違う役目、働きをする細胞になってゆく訳ですが、もともとは同じ遺伝子を持つ細胞だったわけですから大変不思議なことであります。

最近新しい説をとる遺伝子工学者が出ていますが、その説によると、人間の経験や学びはすべて遺伝子の中に記録されてあるということですが、そうすると生まれたばかりの子供は両親の記憶を持っていることになりませんが、そのようなことはありません。おかしい話です。

人間の体を工場にたとえてみますと、各細胞は色々な機械に当たるのではないかと思います。色々な物を作り出します。最近では科学が発達し、コンピューターによる自動化が進んでいますが、コンピューターは人間の脳にあたると思います。しかし工場においてはそのコンピューターにスイッチを入れたり切ったりする人間がいるわけですが、人体の場合はどうでしょうか。人体におけるスイッチを入れたり切ったりする役目をするものは心とか意識とか魂と呼ばれているものではないかと思っています。

心や意識や魂を認めないと説明のつかない事がこの世の中にな多くに思いますわ、これらの存在を認めますと、証明はむずかしいと思いますが、多くの事が理解できるように思います。ご挨拶を終わります。

幹事報告： 佐藤幹事

各ロータリークラブより12月例会案内が来ております

- ・燕RC 12月19日（木）クリスマス家族会 6：30～ 記帳受け付けます
- ・分水RC 12月17日（火）クリスマス大会 6：30～ 記帳受け付けます
- ・見附RC 12月19日（木）ガバナー公式訪問 会場ホテルつるや
- ・巻RC 12月5日（水）クリスマスパーティー 6：30～ 記帳受け付けます
- ・三条RC 12月11日（水）10日合同例会の為記帳受け付けます
- ・三条南RC 12月9日（月）10日合同例会、16日（月）忘年家族会の為記帳受け付けます
- ・加茂RC 12月19日（木）夜例会 記帳受け付けます

ニコニコボックス： 26日現在累計 435,000円

堀川正幸君 先週はガバナー公式訪問ご苦労さまでした。長時間のためくたびれましたが、終

った後のお酒は格別でした。梨木さんのお店の酒が特別うまかったのは私だけでしょうか？

- 中條耕二君 公式訪問欠席致しました。丁度出張のため、お詫び申し上げます。
- 佐藤啓策君 名調子の平松節を聞かせて頂きます。お陰様で楽しいひと時が過ぎ幸いです。
- 落合益夫君
- 梨本清一君 平松さん本日の卓話ご苦労さまです。これを機に旅々やって下さい。
- 斉藤正君 早退します。平松さんごめんなさい。
- 久保博君 卓話「旅」楽しみです。
- 今井克義君 山口会員の元気な姿に安心して。
- 山口龍二君 今井会員の元気な姿に安心しました。ありがとう。

イライラボックス： 26日現在累計 3,000円

委員会報告：

- ・親睦活動委員会 12/10（火）3RC合同例会、12/24（火）ファミリークリスマスの件
- 卓話： 「旅」 平松利朗会員



昔から日本人は旅を格別に好んできたようです。先日、芭蕉の「奥の細道」の自筆本が見つかったと話題を呼びましたが、古来より数多くの紀行文の名作が残されていることでも日本人の旅好きが理解できます。当時の長旅は道中、大変な難儀に遭うことも多く、命にかかわるようなこともあったようです。そんな昔はともかく、戦後の復興期から高度経済成長期へと旅行も随分と便利になりました。世の中、不景気、不景気と言われながらも、旅行熱だけは上がりっぱなしのようです。最近では、交通機関はより早く、安全、快適であり、団体旅行に

加われば、旅行会社がすべてセットしてくれます。一方、観光地では受入態勢が調い、かゆい所へ手が届くようにサービスが行き届いています。しかし、「旅行」というものが便利になればなるほど、不便と不安を感じながらも、昔の「旅」の“味わい”に郷愁を覚えるこの頃です。

- 12月3日例会： 年次総会
- 12月10日例会： 3クラブ合同例会 VIPグランドホール
- 12月17日例会： 卓話「趣味」 斎藤正会員
- 12月24日例会： クリスマスパーティー 於饒心亭 おゝ乃
- 12月31日例会： 休会
- 1月7日例会： 新春例会
- 1月14日例会： ロータリー理解月間